

製品名: EP3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10496**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	PTGER3
別名	PTGER3; Prostaglandin E2 receptor EP3 subtype; PGE receptor EP3 subtype; PGE2 receptor EP3 subtype; PGE2-R; Prostanoid EP3 receptor
遺伝子 ID	5733.0
SwissProt ID	P43115
免疫原	抗血清はヒト PE2R3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

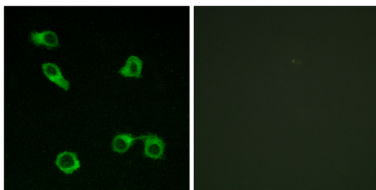
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、G タンパク質共役受容体ファミリーのメンバーです。このタンパク質は、プロスタ

グランジン E2 (PGE2) に対して同定されている4つの受容体の1つです。この受容体は、消化、神経系、腎臓での再吸収、子宮収縮など、多くの生物学的機能を有すると考えられます。マウスにおける類似体の研究では、この受容体が副腎皮質刺激ホルモン (ACR) 反応や、外因性および内因性刺激に対する発熱にも関与していることが示唆されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2009年8月]、代替製品: 追加のアイソフォームが存在するようです、機能: プロスタグランジン E2 (PGE2) の受容体。EP3 受容体は、胃酸分泌の抑制、中枢および末梢ニューロンにおける神経伝達物質放出の調節、尿細管におけるナトリウムおよび水の再吸収の抑制、子宮平滑筋の収縮に関与している可能性があります。この受容体の活性は、G-I タンパク質を介したアデニル酸シクラーゼ阻害と細胞内カルシウム濃度の上昇の両方に共役する。様々なアイソフォームは同一のリガンド結合特性を有するが、異なるセカンドメッセンジャーシステムと相互作用する。類似性: G タンパク質共役受容体1ファミリーに属する。組織特異性: 小腸、心臓、膵臓、胃底粘膜、乳動脈、肺血管に発現する。、

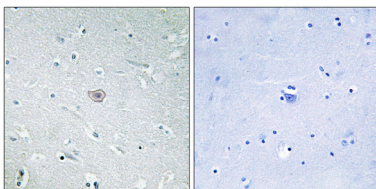
研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;

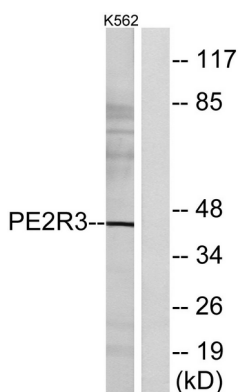
画像データ



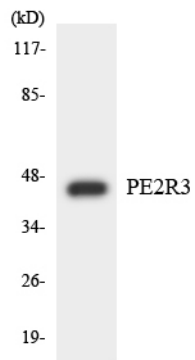
PE2R3 抗体を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



PE2R3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



PE2R3 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PE2R3 抗体を使用した Jurkat 細胞の溶解物のウエスタン ブロット分析。